

No. 1045 2007-03-11

日本共産党 須佐支部
電話 2016 fax 2223
kinn2@haginet.ne.jp

郵便夫
夜勤と言ひつ 白魚汲む

柳井山甫
句集「郷巡り」より

萩市議会開会 53議案が提案される

萩市議会は2日開会し、07年度の当初予算や条例案などの53議案を提案しました。2日には補正予算に関する質疑がおこなわれ、委員会に付託されました。

5日は、一般会計などの補正予算が可決されました。また他の議案の質疑がおこなわれ、委員会に付託されています。6日から8日まで13人の議員による一般質問がおこなわれました。

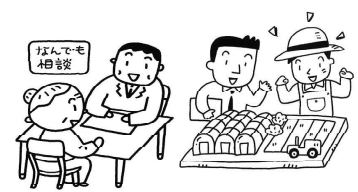
一般会計補正予算は可決 1億9688万円

06年度の一般会計補正予算は、1億9688万8千円の追加で、総額319億2058万3千円になります。

1億2000万円が合併推進補助金です。基本的には合併しなければ必要ない事業ですから、国が補助金をだしても市町村のメリツトはありません。

総合行政システム構築事業1283万円
総務費では情報政策費と

して、総合行政システムの構築事業に1283万円。旧市町村ごとに管理している市の財産、備品を管理することや、契約事務の管理、消防団・団員の把握ができるようにするシステムです。合併推進事業。



庁内LANシステム整備 2194万円
市役所内のコンピュータを結ぶシステムを整備する事業です。2194万円。これも合併推進補助金

公図管理システムに1050万円
旧市町村ごとにあった公図を電子データにし、コンピュータで管理するための物です。1050万円。合併推進事業です。

国保に繰り出し5446万円
民生費では、国民健康保険事業に5446万円の繰り出しがおこなわれます。

老人福祉費では前年度の補助金の精算がおり返還金が1940万円ありました。3保育園に空調設備545万円。児童福祉費では、田万川・あさひ・紫福の3保育園の空調設備を整備します。545万円。合併推進補助金です。

診療所に医療用コンピュータ
衛生費では医療用コンピュータの整備に970万円。06年度の診療報酬改定により医療費の明細領収証の発行が義務付けられたため、未対応の診療所(見島、大島、明木、佐々並、見島歯科)に対応可能な医療事務システムを導入します。

た価格補填制度の基金造成とむつみのダイコンの廃棄処分200トンに関連した負担金が158万円。道路台帳管理システムに1400万円。土木費では旧市町村毎に管理している道路台帳を電子データにして統合、一元管理するためのコンピュータシステムに1400万円。合併推進補助金。

また国保会計直助定でも同様に、川上、弥富、福川の診療所に医療用コンピュータを整備します。450万円。合併推進事業。

秋浄化センター運搬車500万円
秋浄化センターのし尿運搬車の更新に500万円。

野菜価格安定対策負担金158万円
市内の野菜生産に関連した価格補填制度の基金造成とむつみのダイコンの廃棄処分200トンに関連した負担金が158万円。

図書館管理システムを統合550万円
須佐図書館のシステムを更新し、萩図書館と統合します。550万円。合併推進補助金。

市内の全小中学校で行った耐震診断に基づいて、2次診断と補強計画の策定を実施する事業として800万円。明倫小学校と秋東中の屋内運動場が対象です。合併推進補助金。

無料法律相談
3月 23日(金)
午後10時30分～12時
サンライフ萩
弁護士が相談を受けます

合併推進補助金あとの事業はなに？

質疑にたった宮内議員は次のように聞きました。

「合併補助金(市町村合併推進体制整備補助金)は新市建設計画期間内に5億1千万円の交付が見込まれています。今回1億2000万円ですが、今後予定されている事業は何ですか」



具体的に決まっていない

市長は、「国に予想外の税収があったために新年度で準備していたものを今年度に前倒しした」全額補助金でまかなえる事業だけに会計検査も厳しい「どれを優先するのか、合併特例債もあり、優先順位を決めなければならぬが、具体的には決まっていない」

野菜大量廃棄処分別の方法を考える必要があるのでは



野菜価格安定制度の負担金に関連し、むつみ千石台のダイコン200トンの廃棄処分に対し、たぐさんの激励とともに「もったいな

事業のメニューはあるが明らかにされない

実際には予定する事業のメニューはあるはずですが、新市建設計画や基本構想計画があり財政計画が立てられているはず。旧萩市内の大型事業もかなり予定されているはず。しかし、それを出すと周辺部となった旧町村の住民の批判が出るのが必至です。

総合事務所人員削減に

今回各種のコンピューターシステムの統合の予算が着きました。一元管理ができる総合事務所の事務は減り、人員も削減、支所の統廃合、地域の衰退がすすむ恐れがあります。合併すると周辺部の衰退が起これという不安が徐々に現実のものとなっています。

萩市議会2007年3月 一般質問

質問順	氏名	おもな質問事項	市長・教育長答弁の主なもの
1	守永 忠世	いじめ 不登校	いじめ撲滅宣言をして取り組む。
2	世良 眞名夫	姉妹都市友好都市交流 広報サービス 農業担い手 教育	4月から新しいホームページにして、各担当部署で充実更新していく
3	西元 勇	長門峡開発 シャクナゲ観光資源化 ホルンフェルス	ホルンフェルスの表記は広義では間違っていない、決着済み
4	中村 洋一	新年度重点施策 行財政改革 学校図書館	萩城復元は計画するだけで財政はいっきに悪化する 学校図書館は交付税算入以上に予算化している
5	江原 任子	障害者福祉 観光行政	3年間の特別支援事業が決まった 厚生労働省はもう少ししっかりしてほしい
6	小林 正史	世界遺産登録 企業誘致 行財政改革	コールセンター誘致に延べ70社訪問したが成果が無い 夕張市の財政赤字は一次借入金膨大 萩市とは大きく違う
7	大村 起夫	夕張問題 陶芸の村公園 世界遺産登録 萩城復元	陶芸の村公園は最低限の事業に縮小し継続する 萩城復元で夕張のような愚は避けたい
8	諸岡 皓二	財政問題 観光	企業誘致には県も同行 県の200件訪問のうち3分の1は萩市 財政削減の努力見てほしい
9	松尾 義人	萩市のビジョン 地域づくり支援 小規模校の教育	三見の道の駅目指して協力していく 観光と1次産業を結び付けていく
10	近江 郁宣	中央公園整備事業	芝生のなかで練習することや月一回程度の大会は認める 約6億円の事業
11	宮内 欣二	廃棄物処理への対応と基本姿勢 弥富診療所の入院再開 交通手段の確保 図書館、児童館の建設	産廃処理場は協定違反での法的措置を考える 水源保護条例は慎重に検討する 弥富診療所の入院施設は住民の意向を確認する 循環バス・予約方式を実施するので状況を見る
12	斉藤 眞治	萩市独自の福祉行政 県との連携調整	生活支援事業で応能負担を原則にしているのは県内で萩市だけ
13	長岡 肇太郎	離島における防災体制	消防署がいけない離島には配慮が必要検討する

した。制度で決まっている

市長は、「全国でも同じ批判が湧き起こった」給食に使えなどいろいろな声があったが、一部でも使えば、制度から金が出てこなくなる仕組みになっている「しかし気持ちちは同じである」と答えました。

小さい農家には何も無い

宮内議員は、「この制度も一定の要件が必要で大きな産地、大きな農家が対象。それでも農家の倒産というこ

あるし、小さい農家への支援策も必要ではないか」と質しました。

気には留めている

市長は、「WTO体制にもとづいて政策が決められている。品目横断的対策に乗れるように集落営農を進めている。小規模零細農家をどうするかは課題だ。農協

とも連携して考えねばならない。気には留めている」と答えました。

